



分別の徹底・改善、環境教育の充実で
社員一丸となった3R活動を推進！

丸五ゴム工業株式会社 矢掛事業所

企業紹介



丸五ゴム工業株式会社は、独自性の高い製品開発とムダのないモノづくりを基盤に進化・成長を続ける、工業用ゴム・樹脂製品の総合メーカーです。防振ゴム・ホースなどを主とする自動車用部品の開発・製造・販売を手掛け、矢掛事業所ではエンジンルームの中にあるエアホースや燃料ホースなどのホース関係、エンジンカバー等の樹脂成形部品を製造しています。

取組事例のご紹介

Reduce (リデュース) 使い捨てプラスチックの削減



不良品を減らす挑戦

「不良低減委員会」を毎月実施し、各部署における取組の進捗を確認し、不良品低減に尽力。これによって工場全体の不良品は年々減少傾向にあります。工場全体の品質アップと廃棄物の削減を実現しています。



プラスチック製の事務用品は 環境に配慮した商品を選んで購入

オフィスや事業所内で使用する蛍光ペンやボールペン、替え芯などの文具類について、エコマークの付いた商品やカートリッジ式商品などを選んで使用。プラスチック廃棄物の削減に努めています。

Reuse (リユース)・Recycle (リサイクル) プラスチック資源循環への取組



会社全体で分別・対策を徹底

プラスチックごみは、細かく分類して集めて再生業者へ売却し、リサイクル原料として使用されています。倉敷事業所では、プラスチックごみを原料に再生されたポリ袋を購入し、社内で使用しています。

また、「分別」について、社員教育を徹底。会議室の中だけでなく、現場でスタッフと相談しながら対策を検討することで、どこに何を捨てて良いのか分からない状態や、異なる素材が混在する状態を防いでいます。外国人スタッフも識別できるようにベトナム語とポルトガル語でも注意書きを併記しています。



製造過程で出た端材等は原料として再利用

プラスチックの端材や不良品は社内でも粉砕した後、社内で製品の原料として再利用しています。不良品と端材のリサイクル再資源化は、ほぼ100%を達成しています。樹脂製品だけでなく、ゴム製品についても同様にリサイクルに取り組んでいます。

地域とともに3R活動



地域の清掃活動でプラスチックごみを回収

高梁川流域クリーン・サーターンなど、年に2回清掃活動ボランティアに参加しています。



プラスチック3R活動に関してお聞きました

Q. おかやまプラスチック3R宣言事業所への登録のきっかけは何ですか？



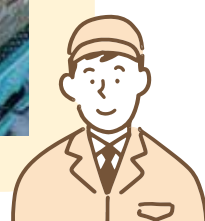
A. 2002年の環境ISO14001認証取得を皮切りに、環境保全への取組を強化しています。所属する「日本ゴム工業会」がプラスチック資源循環推進を目的に、2035年度目標として「廃プラスチック類の再資源化率85%以上」を掲げる中、当社は発生廃棄物のリサイクル率99.7%を達成しています。業界をリードする3R活動の広報・宣伝を目的におかやまプラスチック3R宣言事業所に登録しました。



Q. 独自の取組内容“キラリPOINT”を教えてください



A. 以前は製品の入った容器をナイロン袋に入れて納品していましたが、製品を取り出す際に手間がかかる上、袋が納品先でごみとして廃棄されるという課題がありました。その数、毎日約40枚！そこで、袋を容器の上に被せる形の状態で納品するように変更したところ、製品を取り出しやすくなった上、袋も返却してもらえるようになり再利用が可能になりました。



Q. 他社におススメしたいコツやアイデアなどありますか？



A. クイズで楽しく環境学習しています。

パート社員を含めた全社員と、事業所数地内で作業する外部スタッフ・再生業者も含めた関係者全員を対象に、毎年一度、3R推進など環境活動への意識・知識向上を図る「環境一般教育」や「環境集会」を実施しています。さらに、環境に関する学習内容をクイズ形式で出題し、正解した人の中から抽選で賞品をプレゼントしています。その結果、2024年の応募率は94%と、多くの方が積極的に参加しました。社員への啓蒙活動に力を入れることで、廃プラスチックの削減、マイボトル使用など、3R活動を推進しています。

